

# Eastspring Asia Now

Vol.7 ラマダン2017年(インドネシア)

eastspring  
investments

## 今年のラマダンは5月27日(土)から約1ヵ月

- ▶ インドネシアは世界第4位の人口(約2.6億人)を抱え、多様な民族、言語、宗教、文化があります。インドネシアの国民の約9割はイスラム教を信仰していますが、キリスト教、ヒンズー教、仏教を信仰するインドネシア人もいます。ラマダンとはイスラム暦の第9月を意味する言葉で、この月の日の出から日没までの間、イスラム教徒は義務の一つ「断食(サウム)」として、飲食を断ちます。
- ▶ イスラム教徒への配慮から、信仰していない人たちは、彼らの目につかない場所で食事や喫煙をするのがマナーとして定着しています。インドネシアではこの時期、日中の断食を乗り切るため夜間や未明にとる食料を十分確保しようとする家庭が多く、食料品の価格が上昇しやすい傾向にあります。

出所:外務省、IMF

## ジョコ大統領、ラマダンを前に食品(特に牛肉)価格を下げるように閣僚に指示

- ▶ インドネシア政府はインフレ率を今年目標範囲内に抑制するため、ラマダンを前に食料品価格の安定を図っています。ジョコ・ウィド大統領は、牛肉の目標価格をキログラムあたり8万ルピア(約670円\*)まで引き下げるように閣僚に指示しましたが、現状はまだ一部の地域で、10万ルピア(約840円\*)以上の水準にあります。イスラム教徒は豚肉を食べません。インドネシアでは、牛肉を食さないヒンズー教徒の多いインドからも安価な牛肉の輸入を開始しました。
- ▶ 1月、2月のインドネシアの消費者物価指数(CPI)は前月比上昇傾向で推移しました。ただし、3月は農産物の収穫期であったため、いくつかの主要な食料品の価格が低下し、前月比で0.02%のマイナスとなりました。3月の同指数の前年同月比の上昇率は3.61%で、インドネシア中央銀行(BI)が目標とする+3~5%のレンジ内におさまっています。

出所:各種報道、Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。\*100ルピア=0.84円で換算。



(写真提供:アフロ)

## 断食明け大祭(イドゥル・フィットリ)

1ヵ月間続いたラマダンの終わりを祝うイスラム教の大祭です。イドはアラビア語で祝宴を意味し、フィットリは断食の終わりを意味するアラビア語です。

イドゥル・フィットリは「レバラン」とも呼ばれていますが、前後10日間ほどは、インドネシア人が大挙して旅行に出かけるため、非常に混雑します。

ラマダンは祝日ではありませんが、イドゥル・フィットリは祝日で、今年は6月25、26日になります。多くの企業はボーナスを支給し、1週間程度の休暇取得を奨励しています。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

### イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。